

講義名称	子どもの健康と安全	担当教員名	金井 みち子
科目群	専門科目		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 (PM) 選択	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMPM2159

授業のキーワード	健康教育・疾病の理解と対応・安全管理
授業の概要	子どもの発達過程、健康問題・安全管理について基礎的な知識・技術・態度を習得することにより、保育の現場における健康管理について理解し、実践することができます。
期待される学習成果 (目標)	子どもの健康・保持増進、及び安全管理能力を培います。 子どもの体調不良や疾病に対する適切な対応について習得できます。 保健計画が作成でき、保護者への関わりを通して健康問題に対処できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	子どもの健康と保育環境	子どもの健康を守る保育環境・保健的視点を踏まえた保育環境
2	子どもの発達と発育	乳幼児の身体測定と評価
3	個別的対応と集団全体の健康	健康診査・乳幼児の生理機能と評価
4	3歳未満児への対応 (1)	食事・排泄・睡眠・抱き方、おんぶの仕方
5	3歳未満児への対応 (2)	沐浴・更衣・衣類の選択
6	保育における健康及び安全管理	施設環境、屋内、屋外の衛生管理
7	事故防止および安全対策	子どもの事故の特徴・事故防止対策・危機管理と災害への備え・安全教育
8	子どもの体調不良時の対応	子どもの症状のポイント・よくおこる症状に対する看護
9	傷害時の応急処置	応急処置手当 事故発生時の対応
10	子どもの救急処置と蘇生法	人工呼吸・心肺蘇生法
11	感染症対策	感染症の予防と対策
12	個別的な配慮を要する子どもへの対応	疾病を持つ子どもへの対応
13	保健活動における連携と協働	職員の連携・協働と組織的取り組み 家庭、専門機関、地域の関連機関との連携
14	保健活動の計画及び評価 (1)	保護者向けの健康便りーグループワーク
15	保健活動の計画及び評価 (2)	保護者向けの健康便りー発表

定期試験	試験問題は、第1講より第15講迄、全般に渡り出題します。
授業時間外学習	1～6子どもの発育、発達段階について復習しておきましょう。 7～12子どもに起こりやすい事故や病気の症状について調べてみましょう。 13～15保護者への健康教育の内容について調べてみましょう。
評価方法	最終試験により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	小林美由紀「子どもの健康と安全演習ノート」(診断と治療社) 厚生労働省編「保育所・保育指針」(フレーベル館)
参考文献	兼松百合子、荒木暁子、羽室俊子「子どもの保健・実習」(同文書院) 小林美由紀「子どもの保健テキスト」(診断と治療社)